

出前講座の目的

- 01 開発途上国の現状、日本とのつながりについて知る
- 02 国際協力の意義、必要性について理解する
- 03 自分たちにできることを考え、自発的に行動する

受講対象

日本国内の小学校・中学校・高校・特別支援学校・大学・専門学校等の教育機関、一般・市民団体等、ならびに海外の日本人学校等

※原則として以下のケースは要請をお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

- ・ 個人宅で実施するもの
- ・ 要請元(依頼者)の事業収益、営業、拡販、宣伝等を目的としたもの
- ・ 要請元(依頼者)の個人的な活動に基づくもの

講座の主な種類やテーマ

JICA海外協力隊の体験談(+現地の子どもたちとの交流)

開発途上国で活動経験のあるJICA海外協力隊による体験談を通して、世界の課題やつながりを知り、自分たちにできることを考えます。

活動分野例:教育、保健医療、社会福祉、栄養改善、環境、スポーツなど

体験談を通じて、異文化理解、SDGs、国際協力、キャリア教育などについても学習できます。



JICA海外協力隊
活動分野/職種

JICAスタッフなどによる専門分野の講座

以下のような分野における、より専門的な講義をご要望の場合には、JICA職員や国際協力専門員などを講師に専門分野の学習ができます。探究授業にも活用できます。

JICA事業全般、教育、農業/村落開発、保健医療、気候変動、環境管理、自然環境保全、水資源、防災・復興、平和構築・難民支援など

よくある質問

Q.

オンライン講座の当日はサポートを受けることはできますか？

A.

はい、オンライン講座は基本Zoomで行い、当日は事務局も参加し、接続・音声・画面共有などに問題が発生したときは速やかに対処します。

Q.

オンライン講座で話をしてほしい講師が決まっています。この場合も申込みは必要ですか？

A.

はい、所定のお申し込みをお願いします。活動中のJICA海外協力隊が講師をする場合は、原則JICAの承諾が必要です。

Q.

オンラインの接続や音声に支障がないか事前にテストはできますか？

A.

講師との打ち合わせを兼ねた接続テストは基本的に行います。別途、接続テストをご希望の場合も、調整いたします。



国際協力出前講座



国際協力出前講座は、開発途上国で国際協力経験のあるJICA海外協力隊やJICAスタッフ、自国の発展のために日本で学ぶJICA研修員を講師として紹介しています。

教科での学習(総合的な学習<探究>)の時間、社会、英語、道徳)、キャリア教育、テーマ学習等でご活用いただいています。





オンライン出前講座

オンライン出前講座事務局が、要請元(学校など)のご希望のテーマ・内容に応じて講師を選定、要請元と講師の打ち合わせの調整をし、講座当日までのサポートを行います。

講師 開発途上国で活動中のJICA海外協力隊、JICAスタッフ(職員・国際協力専門員など)

費用 無料 ※上記以外の講師を希望される場合、費用が発生することがあります。

申込方法 JICAウェブサイト国際協力出前講座ページの申込フォームよりお申し込みください。

※右のQRコードからもお申し込みいただけます。

【申込期限】実施希望日の **40日前まで**



オンライン出前講座
お申し込みフォーム

実施例



小学校

海外のSDGsの現状を知りたい

愛知県 小学5年生 - 総合的な学習の時間

講師 JICA海外協力隊
(派遣国:モザンビーク/職種:小学校教育)

学校のニーズ

総合の学習でSDGsについて学んでいるので、海外ではどのような取り組みがされているのか知りたい。現地の子どもたちと交流がしたい。

講座内容

- ・モザンビークの現状とSDGsについて
- ・現地の小学生と交流



高校

教材で学んだ国の現状は？

群馬県 高校1年生 - 英語の授業の一環

講師 JICA海外協力隊
(派遣国:ボリビア/職種:環境教育)

学校のニーズ

英語の授業で扱う教材に出てくる「ボリビア」が抱える問題について知り、その解決策について考える授業をしたい。

講座内容

- ・JICA海外協力隊の体験談、キャリアパス
- ・ボリビアのごみ問題



JICAウェブサイトの実施レポートを掲載しています。
右のQRコードからご覧いただけます。



利用者の声



出前講座のあと、児童たちの会話の中でマダガスカルの話が話されていたり、社会の授業中に、輸入や輸出の学習でマダガスカルの話になったりと、子どもたちの知識や意識が深まっているのを感じます。
(小学校教諭)



講師の方には、子どもたちにとって大変貴重なお話をしていただき、学びの深まる時間となりました。国際理解への関心の高まりが児童の表情から伝わってきました。今回の交流を通して、子どもたちが世界とつながる喜びを実感することができました。
(小学校校長)



人の数だけ「当たり前」があるというメッセージは、生徒にも教員にも深く響きました。身近な人を大切にする事の延長線上に、まだ見ぬどこかの誰かの幸せを考えることができるようになるという話を入学当初からしてきました。まさにそれを実現されている講師のお話を伺い、生徒の理解は深まったように感じています。
(高校教諭)



講座を通して、子どもたちは世界の現状や国際協力の意義に強い関心を示し、非常に有意義な学びの時間となりました。この経験は、今後の学習や進路を考える上でも大きな刺激になると確信しております。
(中学校教諭)



対面型出前講座

対面型出前講座については、JICA国内拠点が実施し、地域の国際協力関係者等を講師として紹介しています。

お住まいの地域を管轄するJICA国内拠点にお問い合わせください。

※右のQRコードから、各JICA国内拠点ページでご確認ください。



対面型出前講座
お問合せ窓口

講師 JICA海外協力隊経験者、JICAスタッフ、国際協力関係者、開発途上国からの研修員

費用 謝金および交通費

※謝金額は学校や自治体等の基準に則し、ご検討ください。
基準がない場合、参考としてJICA規定では一人当たり1時間上限5,100円です。
(2026年5月改定)

実施例



中学校

キャリア教育の一環として！

北海道 中学2年生 - 総合的な学習の時間

講師 JICA海外協力隊経験者
(派遣国:ベトナム/職種:看護師)

学校のニーズ

キャリア教育の一環としての講座。国際協力に携わる講師の話を聞いて、生徒それぞれが、自分らしい生き方のヒントにしてほしい。
また、講師の活動や体験から生徒に国際協力や世界の国々をより身近に感じてほしい。

講座内容

- ・JICA海外協力隊の体験談、参加したきっかけ
- ・外国の生活や文化について
- ・国際協力とキャリア